

大麦「東山皮糯 109 号(ホワイトファイバー)」は、精麦品質に優れる糯性六条大麦である

農業試験場

1 技術の要約

大麦「東山皮糯 109 号(ホワイトファイバー)」は早生で、精麦白度が高く、精麦品質に優れる糯性六条大麦です。

2 技術の内容

県内の大麦主力品種である「シュンライ」は硝子率が高く、品質ランク区分で C ランクに区分されることが多く、課題となっていました。そこで、硝子率が低く、精麦品質に優れる糯性六条大麦「東山皮糯 109 号(ホワイトファイバー)」を奨励品種として普及します。

大麦「東山皮糯 109 号(ホワイトファイバー)」の特性

品種名	出穂期	成熟期	稈長	穂長	穂数	子実重	千粒重	倒伏	硝子率	精麦	55%搗精麦
	(月/日)	(月/日)	(cm)	(cm)	(本/m ²)	(kg/a)	(g)	の多少	(%)	白度	β-グルカン含量 (%)
東山皮糯109号	5/2	6/8	90	5.0	501	72.8	36.3	極微	16.8	48.0	7.5
シュンライ	5/2	6/8	86	4.5	512	72.1	38.3	無	46.5	45.9	3.9

注) 生産に関する成績は平成 21~27 年の平均。品質関係は平成 26 年の数値。

- 出穂期、成熟期は「シュンライ」とほぼ同日である。
- 稈長は「シュンライ」よりやや長い。
- 子実重は「シュンライ」とほぼ同等である。
- 硝子率は「シュンライ」より低く、精麦白度は優れる。
- 「シュンライ」より機能性成分（食物繊維）β-グルカン含量が高い。



「東山皮糯 109 号」の成熟期の立毛状況



左「外国産大麦」

右「東山皮糯 109 号」

「東山皮糯 109 号」の 55%搗精麦の白度が高い